

## 平成 21 年度「市立千歳市民病院改革プラン」に係る 収支計画及び数値目標の進捗状況について

### 1 収支計画について

「市民病院改革プラン」の計画初年度である平成 21 年度は、計画では経常損失（赤字）を約 1 億 5,300 万円としておりましたが、決算では約 1 億 3,900 万円となり、計画と比べ約 1,400 万円の経常損失縮減となっております。

収入・支出別の主な項目では、収入では入院収益において計画は約 25 億 3,300 万円を予定していましたが、決算は約 23 億 6,200 万円と計画を約 1 億 7,100 万円下回り、外来収益においても計画は約 13 億 4,300 万円を予定していましたが、決算は約 13 億 900 万円と計画を約 3,400 万円下回っており、このような結果、経常収益総額では計画を約 1 億 6,800 万円下回ることとなりました。

入院・外来収益減少の主な要因は患者数の減少によるものであり、入院は「内科」、「消化器科」などで減少し、外来は「循環器科」、「消化器科」、「透析」などで減少しています。

一方、支出では材料費において計画は 9 億 1,100 万円を予定していましたが、患者数の減少や薬品・診療材料のコスト縮減の取り組みなどにより、決算は 7 億 8,800 万円と計画を 1 億 2,300 万円下回ったほか、職員給与費や経費など全ての科目で決算が計画を下回り、経常費用総額では計画を約 1 億 8,200 万円下回ることとなりました。

なお、経常損益について平成 20 年度との比較では、平成 20 年度は約 2 億 700 万円の経常損失であったことから、約 6,800 万円の損失縮減となっております。

### 2 数値目標について

「市民病院改革プラン」では、経営の効率化に向け、主要な 8 つの経営指標について年度ごとの数値目標を設定しています。

「経常収支比率」、「材料費対医業収益比率」、「患者 1 人 1 日当たり診療収入（入院・外来）」の 4 指標は目標を達成しておりますが、「病床利用率」、「1 日平均患者数（入院・外来）」、「職員給与費対医業収益比率」の 4 指標については目標を達成していません。

目標を達成した 4 指標について、費用に対する収益の割合を示す「経常収支比率」の増加は、経常費用の減少額が経常収入の減少額を上回ったことから損失額が縮減し、経常収支が向上したことを表しています。「材料費対医業収益比率」が減少した要因

は、患者数の減少や薬品・診療材料のコスト縮減の取り組みによるものであり、「患者1人1日当たり診療収入（入院・外来）」の増加は、効率的な医療の提供を行ったことによるものと考えます。

また、目標を達成していない4指標について、「病床利用率」と「1日平均患者数（入院・外来）」の減少は、患者数の減少によるものであり、「職員給与費対医業収益比率」の増加は、職員給与費は減少したものの、医業収益が大きく減少したことが要因となっています。

### 3 総括

収支の状況については、収入・支出とも計画を下回り、また、各科目においては多少の増減が生じましたが、経常収支は計画と比較し約1,400万円の損失縮減となっており、現時点においては、計画は概ね順調に進捗しているものと考えます。

また、経営指標については、数値目標を定めた8指標のうち4指標が患者数減少の影響により、目標を達成していない状況となっていますが、企業の経営状況を表す「経常収支比率」は目標を達成しており、『平成24年度の経常収支黒字化』に向けて計画全体が順調に進捗しているものと考えます。

今後は、より健全で安定した経営基盤の確立に向け、収入面の向上が重要となることから、医師をはじめとする医療職員の確保による診療体制の充実を図るとともに、地域医療連携を推進してまいります。

## 「市民病院改革プラン」収支計画に対する平成21年度決算の状況

### 1 収支状況

(単位：千円)

	区 分	21年度プラン計画額 A	21年度決算額 B	増減 B-A	(参考)20年度決算額 C	(参考)増減 B-C	
収入	1 医業収益	4,437,722	4,273,146	▲ 164,576	4,466,604	▲ 193,458	
	(1) 料金収入	3,876,002	3,670,407	▲ 205,595	3,894,582	▲ 224,175	
	入院収益	2,533,088	2,361,554	▲ 171,534	2,574,028	▲ 212,474	
	外来収益	1,342,914	1,308,853	▲ 34,061	1,320,554	▲ 11,701	
	(2) その他収益	561,720	602,739	41,019	572,022	30,717	
	他会計負担金	327,887	331,229	3,342	323,010	8,219	
	その他	233,833	271,510	37,677	249,012	22,498	
	2 医業外収益	580,395	577,034	▲ 3,361	531,137	45,897	
	(1) 他会計負担金・補助金	546,812	547,637	825	502,809	44,828	
	(2) 国(道)補助金	6,057	6,641	584	3,058	3,583	
	(3) その他	27,526	22,756	▲ 4,770	25,270	▲ 2,514	
	経常収益	5,018,117	4,850,180	▲ 167,937	4,997,741	▲ 147,561	
	支出	1 医業費用	4,776,901	4,610,344	▲ 166,557	4,821,920	▲ 211,576
		(1) 職員給与費	2,193,317	2,182,328	▲ 10,989	2,177,916	4,412
		(2) 材料費	911,065	787,635	▲ 123,430	1,026,774	▲ 239,139
(3) 経費		1,102,942	1,073,492	▲ 29,450	1,024,512	48,980	
(4) 減価償却費		533,753	533,752	▲ 1	549,552	▲ 15,800	
(5) その他		35,824	33,137	▲ 2,687	43,166	▲ 10,029	
2 医業外費用		393,911	378,826	▲ 15,085	382,720	▲ 3,894	
(1) 支払利息		168,661	166,736	▲ 1,925	168,695	▲ 1,959	
(2) その他		225,250	212,090	▲ 13,160	214,025	▲ 1,935	
経常費用		5,170,812	4,989,170	▲ 181,642	5,204,640	▲ 215,470	
経常損益		▲ 152,695	▲ 138,990	13,705	▲ 206,899	67,909	
特別損益	1 特別利益	9,100	2,918	▲ 6,182	1,712	1,206	
	2 特別損失	35,700	30,959	▲ 4,741	34,715	▲ 3,756	
	特別損益	▲ 26,600	▲ 28,041	▲ 1,441	▲ 33,003	4,962	
純損益		▲ 179,295	▲ 167,031	12,264	▲ 239,902	72,871	
累積欠損金		2,469,318	2,469,713	395	2,302,682	167,031	
内部留保資金		1,092,861	1,073,304	▲ 19,557	933,951	139,353	

2 主な項目の増減理由

(単位：千円)

項 目		計画額 A	決算額 B	増減 B - A
収入	医業収益	2,533,088	2,361,554	▲ 171,534
		<b>【増減理由】</b> ■患者数の減少（診療別内訳は別紙1参照） ・患者数：59,313人→50,694人(▲8,619人) ・1日平均患者数：162.5人/日→138.9人/日(▲23.6人) ・病床利用率：85.5%→73.1%(▲12.4%)  [参考] 患者1人1日当たり診療収入(入院)：42,707円→46,584円(+3,877円)		
		1,342,914	1,308,853	▲ 34,061
	外来収益	<b>【増減理由】</b> ■患者数の減少（診療科別内訳は別紙1参照） ・患者数：171,870人→167,492人(▲4,378人) ・1日平均患者数：710.2人/日→692.1人/日(▲18.1人)  [参考] 患者1人1日当たり診療収入(外来)：7,813円→7,814円(+1円)		
		233,833	271,510	37,677
	その他	<b>【増減理由】</b> ■各種検診の増 ・集団一般検診：61,264→67,423(+6,159) ・乳癌・子宮癌検診：8,859→17,204(+8,345) ・妊婦検診：52,318→71,364(+19,046) ■新型インフルエンザ予防接種の増 ・0→5,980(+5,980)		
支出	医業費用	2,193,317	2,182,328	▲ 10,989
		<b>【増減理由】</b> ■職員数減少、期末勤勉手当削減による給与費の減 ・職員給与：1,004,214→995,742(▲8,472) ・期末勤勉手当：391,127→358,728(▲32,399) [職員数増減] 医師(+1人)、看護師(▲11人) ■退職手当の増 ・25,000→64,779(+39,779) [退職者数] 28人(医師6人、看護師19人、技師3人)		
		911,065	787,635	▲ 123,430
	材料費	<b>【増減理由】</b> ■患者数の減少、価格縮減の取り組みによる薬品費・診療材料費の減 ・薬品費：446,453→355,954(▲90,499) [主な内訳] 内科入院(▲36,632)、循環器科入院(▲37,676)、 消化器科入院(▲65,907)、小児科外来(+10,868) ・診療材料費：454,408→423,730(▲30,678) [主な内訳] 循環器科入院(▲40,913)、消化器科入院(▲3,981)、 整形外科入院(+10,229)		
		1,102,942	1,073,492	▲ 29,450
	経費	<b>【増減理由】</b> ■患者数減少、各種経費節減の取り組みによる費用縮減 ・給食委託料：86,102→74,284(▲11,818)		
医業外費用	その他	225,250	212,090	▲ 13,160
		<b>【増減理由】</b> ■薬品、診療材料減に伴う関係消費税の減 ・78,477→70,218(▲8,259) ■保育児童数減少による院内保育事業費用の減 ・委託料：25,620→21,660(▲3,960) [利用児童数] 定員：40人→利用児童数：平均35人		

### 3 数値目標

※各指標の年度推移は別紙3参照

経営指標	21年度 プラン目標 A	21年度 実績 B	増 減 B-A	(参考)		
				20年度実績 C	増 減 B-C	22年度 プラン目標
経常収支比率(%)	97.0	97.2	0.2	96.0	1.2	98.6
費用に対する収益の割合を示し、企業の経営状況を表す。100%以上が単年度経常黒字、100%未満が単年度経常赤字である。  [経常収益/経常費用×100]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 収支の改善</b> ・経常収益：5,018,117千円 → 4,850,180千円 (▲167,937千円) ・経常費用：5,170,812千円 → 4,989,170千円 (▲181,642千円)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 93.4%					
病床利用率(%)	85.5	73.1	▲ 12.4	81.4	▲ 8.3	85.9
病床数のうち利用された病床数の割合を示す。公立病院改革ガイドラインでは、過去3年間連続して70%未満の病院は、病床数の削減等の抜本的な見直しを行う必要があるとしている。  [1日平均入院患者数/190床×100]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 1日平均入院患者数の減少</b> ・162.5人 → 138.9人 (▲23.6人)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 67.2%					
1日平均患者数(入院)(人)	162.5	138.9	▲ 23.6	154.6	▲ 15.7	163.2
1日当たりの入院患者数を示す。  [年延入院患者数/年診療日数]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 入院患者数の減少 (診療科別内訳は別紙1参照)</b> ・59,313人 → 50,694人 (▲8,619人)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 103人					
1日平均患者数(外来)(人)	710.2	692.1	▲ 18.1	710.1	▲ 18.0	712.8
1日当たりの外来患者数を示す。  [年延外来患者数/年診療日数]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 外来患者数の減少 (診療科別内訳は別紙1参照)</b> ・171,870人 → 167,492人 (▲4,378人)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 279人					
職員給与対医業収益比率(%)	49.4	51.1	1.7	48.8	2.3	46.9
医業収益に対する職員給与費の割合を示す。割合が低いほど少ない人件費で効率的に収益をあげていることになる。  [職員給与費/医業収益×100]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 職員給与費は減少したが、それ以上に医業収益が減少したため</b> ・医業収益 : 4,437,722千円 → 4,273,146千円 (▲164,576千円) ・職員給与費 : 2,193,317千円 → 2,182,328千円 (▲ 10,989千円)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 58.3%					
材料費対医業収益比率(%)	20.5	18.4	▲ 2.1	23.0	▲ 4.6	23.3
医業収益に対する材料費の割合を示す。割合が低いほど少ない人件費で効率的に収益をあげていることになる。  [材料費/医業収益×100]	<b>【増減理由】</b> <b>■ 患者数の減少及び価格縮減の取り組みによる薬品費・診療材料費の減</b> ・薬 品 費 : 446,453千円 → 355,954千円 (▲90,499千円) ・診療材料費 : 454,408千円 → 423,730千円 (▲30,678千円)  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 19.6%					
患者1人1日当たり診療収入(入院)(円)	42,707	46,584	3,877	45,624	960	46,550
入院収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。  [入院収益/延入院患者数]	<b>■ 診療科別内訳 (別紙2参照)</b>  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 27,744円					
患者1人1日当たり診療収入(外来)(円)	7,813	7,814	1	7,622	192	7,972
外来収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。  [外来収益/延外来患者数]	<b>■ 診療科別内訳 (別紙2参照)</b>  [参考] 平成20年度全国自治体病院平均 (100～199床) : 8,329円					

(別紙1)

## 平成21年度診療科等別患者数

## 【入院】

(単位：人)

診療科	プラン計画 A	実 績 B	増 減 B - A
内科	11,315	8,094	▲ 3,221
循環器科	730	2,093	1,363
消化器科	9,855	7,217	▲ 2,638
小児科	5,110	4,689	▲ 421
外科	6,570	4,951	▲ 1,619
脳神経外科	4,380	3,275	▲ 1,105
整形外科	12,045	11,811	▲ 234
産婦人科	5,110	4,901	▲ 209
耳鼻咽喉科	730	1,065	335
眼科	1,018	784	▲ 234
皮膚科	986	465	▲ 521
泌尿器科	1,460	1,349	▲ 111
麻酔科	4	0	▲ 4
透析	0	0	0
合 計	59,313	50,694	▲ 8,619

## 【外来】

(単位：人)

診療科	プラン計画 A	実 績 B	増 減 B - A
内科	28,556	30,993	2,437
循環器科	19,360	17,443	▲ 1,917
消化器科	14,036	12,117	▲ 1,919
小児科	21,054	21,995	941
外科	5,324	5,000	▲ 324
脳神経外科	4,598	4,627	29
整形外科	19,070	18,329	▲ 741
産婦人科	13,310	13,278	▲ 32
耳鼻咽喉科	8,470	7,066	▲ 1,404
眼科	11,374	10,645	▲ 729
皮膚科	13,794	13,947	153
泌尿器科	6,292	7,075	783
麻酔科	2,420	2,413	▲ 7
透析	4,212	2,564	▲ 1,648
合 計	171,870	167,492	▲ 4,378

(別紙2)

## 平成21年度診療科等別患者1人1日当たり診療収入

## 【入院】

(単位：円)

診療科	プラン計画 A	実 績 B	増 減 B - A
内科	32,985	35,091	2,106
循環器科	91,957	64,311	▲ 27,646
消化器科	39,482	42,205	2,723
小児科	42,480	50,070	7,590
外科	45,978	47,603	1,625
脳神経外科	49,977	53,294	3,317
整形外科	39,581	43,136	3,555
産婦人科	58,790	61,667	2,877
耳鼻咽喉科	40,081	47,898	7,817
眼科	69,467	76,061	6,594
皮膚科	33,438	34,981	1,543
泌尿器科	37,982	40,563	2,581
麻酔科	9,995	—	—
透析	—	—	—
合 計	42,707	46,584	3,877

## 【外来】

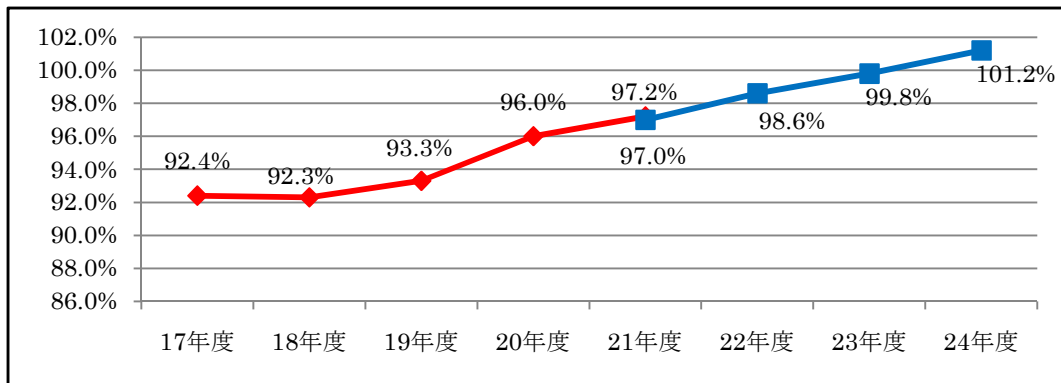
(単位：円)

診療科	プラン計画 A	実 績 B	増 減 B - A
内科	9,495	9,073	▲ 422
循環器科	7,996	7,061	▲ 935
消化器科	12,893	14,297	1,404
小児科	5,997	6,800	803
外科	15,992	14,052	▲ 1,940
脳神経外科	11,494	10,726	▲ 768
整形外科	4,798	4,990	192
産婦人科	4,241	6,803	2,562
耳鼻咽喉科	4,198	4,853	655
眼科	3,998	4,430	432
皮膚科	3,198	2,873	▲ 325
泌尿器科	13,641	12,086	▲ 1,555
麻酔科	1,299	1,274	▲ 25
透析	26,032	27,276	1,244
合 計	7,813	7,814	1

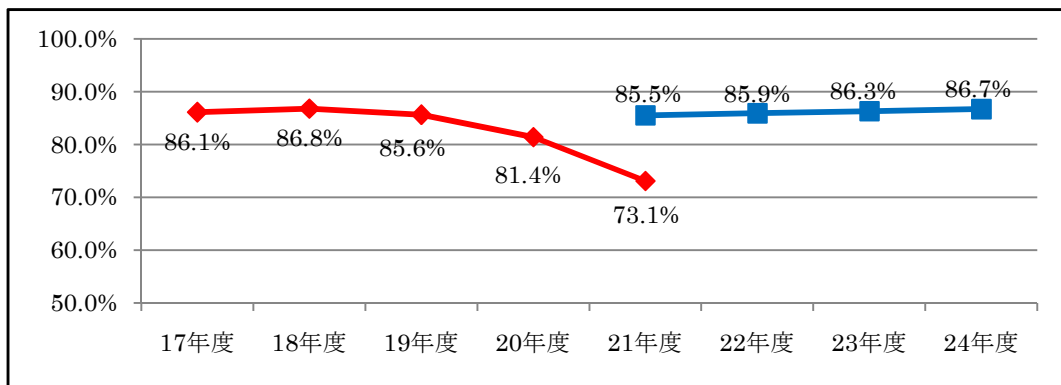
# 経営指標年度推移

※赤線は実績、青線は計画である。

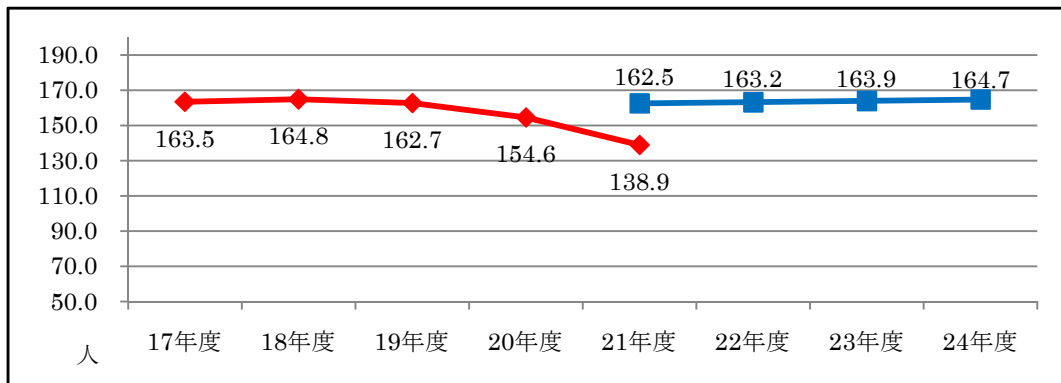
## ◆経常収支比率



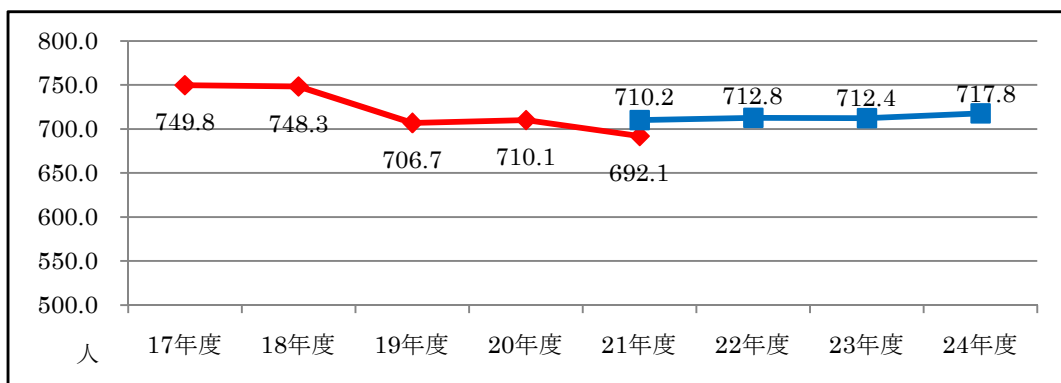
## ◆病床利用率



## ◆1日平均患者数（入院）

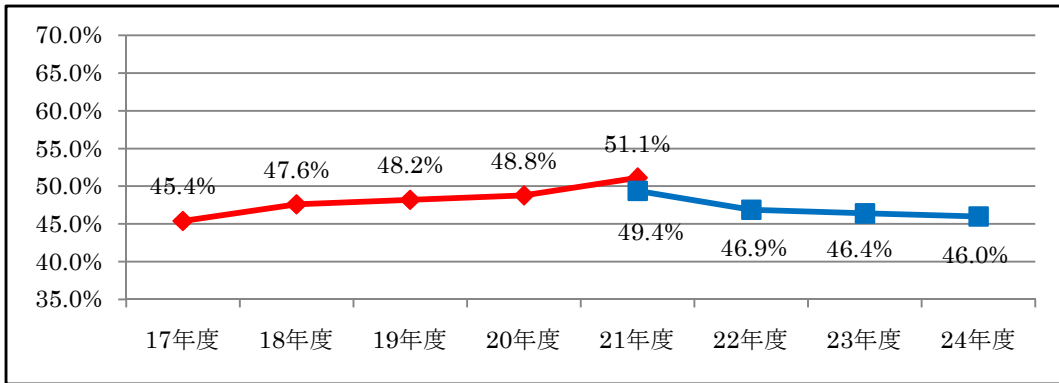


## ◆1日平均患者数（外来）

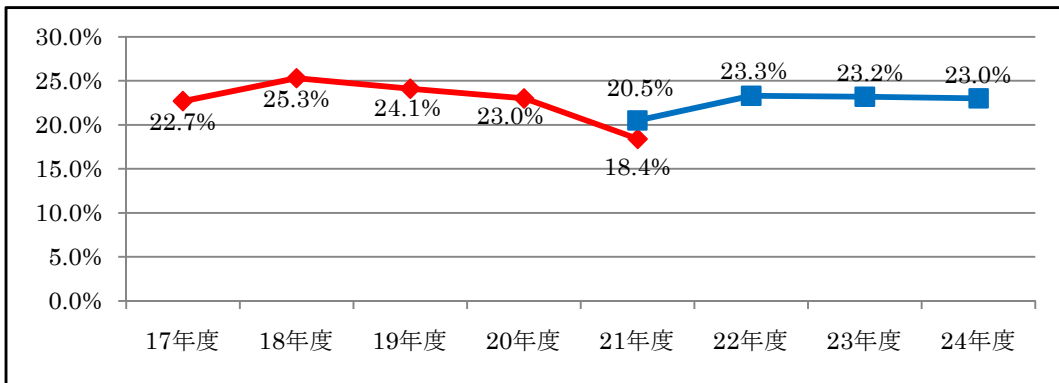




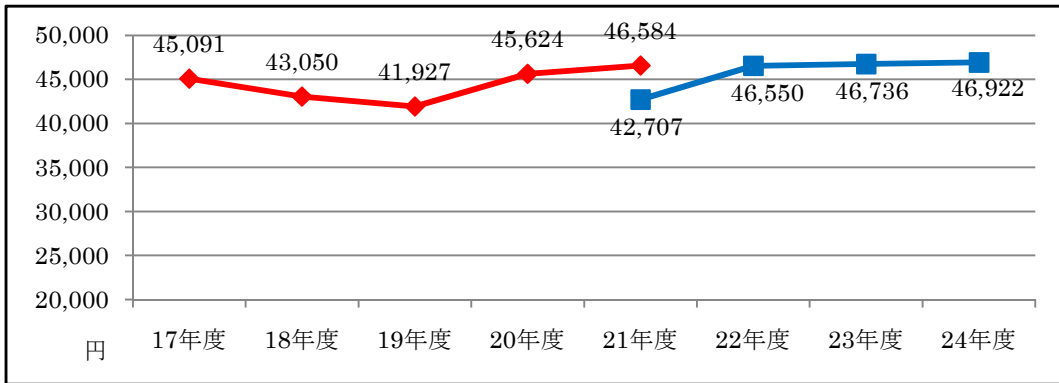
◆職員給与費対医業収益比率



◆材料費対医業収益比率



◆患者1人1日当たり診療収入（入院）



◆患者1人1日当たり診療収入（外来）

